

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(南種子の海)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み、説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

□ 千座の岩屋

・千座の岩屋は波に浸食された奇岩の広がる浜田海岸一帯にある海蝕洞窟です。中に千人が座れるといい伝えがあります。近くには浜田海水浴場があるので夏にはたくさんの人があります。

~ハイライト~

・2015年から毎年「ラネタリウム」が行われています。昨年は、「種子島宇宙芸術祭・ライトエスティバル 2023」において、「スリーランネタリウム星の洞窟」が3日にわたり開催されました。洞窟内がたくさんの星であふれ、とても幻想的な光景です。

~おすすめの写真の撮り方~

・洞窟の中から海を背景にして撮ると「逆光シリエット」でおしゃれに撮ることができます。

・ジヤニアPをしたり、サーフボードを持って撮るのがおすすめです!

~注意点~

・1日2回の干潮時しか中に入ることができない

↳ 気象庁のサイトで潮の満ち引きが確認できます。

・砂浜を歩いて洞窟まで行くので靴が泥汚れます。

↳ サニタリーや三切れてもいい靴の準備が必要です。

・海が荒れた後は漂着物がある。

↳ 千座の岩屋に行く時は当日の天気、海の状態だけでなく前日の天気や海の状態を知ておくことが良いと思います。

□ 木原にある海

・南種子町西之の木原集落にある小さな道を抜けた海にあります。そこには川もながれでたくさんの生き物がいます。

~生き物~

・川

・カキやオカヤドカリなどいました。

・海の岩場

石をひっくり返してみると、貝殻がいたります。

岩には「ミナ」という貝がついています。

この「ミナ」は昔からよく食べられています。

塩でゆでてそのまま食べたり、

酢味噌につけたりするそうです。

おばあちゃんの家でよく出てくるけど、

食べたことないのですが挑戦したい。

砂浜にある「はませり」という

葉、今は天ぷらになつて食べられます。



※ 参考文献／出典(著者名、書名、出版社名、出版年)、HP(サイト名、URL)

(例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版、平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

・鹿児島県観光サイト かごしまの旅

・MEGASTAR (<https://www.megastar.jp/news/>)

評価

A:オリジナルな見解が盛り込まれている。B:一通り書けている。C:不十分な分量・内容。